



「恋人の聖地」PR

館山で愛を育んで

館山市の中堅若手職員チームが二十日、市内の観光施設渚の駅たてやまで、カップルを応援するイベントを開く。

ことし七月、NPO法人地域活性化支援センター（静岡市）より、「鏡ヶ浦（館山湾）から富士の見える



市中堅若手職員チーム

認定記念イベント

るまち 館山」として、「恋人の聖地」に認定されたことを記念して催す。

館山市では、デートやプロポーズにふさわしい場所として市内の洲崎灯台、城山公園、館山夕日栈橋の三カ所を想定。地元の観光関係の団体や事業者との連携など、新たな観光の切り口としての活用が課題となっている。

そこで、市が中堅若手職員を対象に募った「館山創生プロジェクトチーム」に参加する二十〜四十代前半の職員八人が、課題に取り組むことになった。

二十日は午前十一時から午後三時まで、館山夕日栈

①チームの市職員。手にしているのはオリジナルの婚姻届と、「聖地」のプレート
②「恋人の聖地」の1カ所、洲崎灯台
＝いずれも館山市で



橋に近い渚の駅たてやま周辺で、市のマスコットキャラクター「ダツペエ」とともに、チラシやグッズを配布して聖地をアピールする。三カ所には公式プレートを設置。情報はウェブアプリでも発信し、カップルの利用者は協力店舗で特典を受けられるようにする。

他に聖地三カ所をデザインした市オリジナルの婚姻届も作製し、二十一日から使用できる。チームに参加する市企画課の男性職員（三〇）は「プロジェクトは始まったばかり。組織の横のつながりを強くして取り組みたい」と話している。

（北浜修）